

## 司書課程との出会い

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学 公開日: 2013-05-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 多田, 奈緒子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/15821">http://hdl.handle.net/10291/15821</a>

## 司書課程との出会い

多田 奈緒子

(ただ・なおこ) 農学部農学科

二〇〇五年卒業。

埼玉県出身。

体同連生田ハイキング部所属。

作物気象学研究室所属

司書・学芸員資格取得

明治大学職員内定



実は私、理系だというのに司書課程を履修し、選択科目の図書館実習まで行なってしまった、なんとも珍しい人間である。今回は、少しばかり私の体験談をお話したいと思う。

私は子どもの頃から図書館が好きだった。もちろん本を読むことが好きでもあったのだが、何よりあの静かで落ち着いた空間が好きだった。「図書館で働いたら、なんていいだろう」。私はよくそう思っていたものだ。しかし、現実はその甘くはない。そんな淡い憧れは、日々の生活や受験などに追われていくうちに、いつの間にか私の心から消え去っていった。

中学・高校では、環境問題や食糧危機問題に興味を持つようになった。何とか問題を解決できないか、という使命感に似た思いから、明治の農学部へ進む道を選んだ。より高度で専門的な授業に苦戦を強いられつつも、たくさんの友達に囲まれた日々はとても楽しかった。それに体同連の生田ハイキング部という、雰囲気良くてやりがいのある素晴らしい部にも入部でき、私の大学生活は順風満帆にスタートした。

もちろん、このまま進んでいっても、私の大学生活はとても有意義なものになっていたに違いない。しかし、二年生に上がろうとした春休み、私は、人生を変えたといつても過言ではない、運命的な出会いを果たした。それが、司書課程であった。私はそれまで、明治では教職課程しかないものと思っていた。だから、初めて司書課程があると知ったときは衝撃を受けた。「私の憧れがこんな近くにあるなんて」。私の心の奥底に眠っていた気持

ち、好奇心に火が点いたのは言うまでもない。私は司書課程の履修を即決した。

明治大学には教職課程・社会教育主事課程・学芸員養成課程・司書課程・司書教諭課程の五つの資格課程が用意されている。それぞれの学部 of 学生も履修が可能で、毎年多くの学生が資格を取得している。しかし、学年が上がるにつれ、駿河台キャンパスでの講義が多くなるため、理系の履修者は比較的少ない。

私の履修した司書課程も、例に漏れず理系人口が一〇名にも満たないスタートだった。半ば勢いで履修した私は、あまりの少なさに思わず尻込みしたのを覚えている。

しかし、そんな最初の不安などすぐに吹き飛んでいった。同じ目標を持ち、刺激し合える友達との出会いや、実際の業務に直結するような魅力ある授業の数々は、私の心をますます惹きつけて離さなかったのだった。

では、司書課程にはどんな授業があるのか、ここで少し紹介したいと思う。みなさんは司書の仕事といったら、何を思い浮かべるだろうか。貸出や返却のカウンター業務だろうか。それとも書架整理だろうか。実は、司書の仕事は思った以上に奥が深い。貸出・返却の他にも、資料の選書や組織・管理、運営、サービスマ業務など、表面上見えないことが非

常に多い。したがって、授業もそれらを網羅するよう、図書館経営論や資料組織論、専門資料論、生涯学習論、児童サービスや情報サービスなどのサービス論と多岐にわたる。中でも、司書課程の一番の特徴であり魅力だと思ふのは、実務的な演習の数々だ。インターネットを利用して、求められた情報を探し出す情報検索演習、図書館にある資料を駆使し、利用者の求める答えを探して提供するレファレンスサービス演習、資料がある規則にしたがって分類し目録を取る資料組織演習などは、非常に面白く、司書とならずとも、日々の生活にかなり役立つ技術を習得できる。授業を追うことにスキルが身についていく感覚は、かなり嬉しいものだ。多少の根気と努力は必要だが、図書館を使いこなし、情報を使いこなせるようになれば、卒論の執筆や就職活動にも活かせること間違いなし。ぜひみなさんにも司書課程の履修をお勧めしたい。

ともあれ、司書課程の魅力に魅せられた私は、冒頭にあるように、理系であるけれど図書館実習まで経験させていただくことになったのだ。今、私には司書課程を履修してなければ巡り合えなかった、たくさんの宝物がある。それは素晴らしい先生方に出会えた幸せ、学部を超えていろいろ価値観を持った人と共に学び刺激し合えた喜び、専門の勉強

やサークル活動、アルバイトと並行しながらも最後までやり抜くことができた達成感と自信、小さい頃の図書館で働きたいという憧れが実習によって実現できた感動、その他にも言葉では言い表せないたくさんの思いである。それに、あの時、司書課程に飛び込んでみなければ決して開かなかった道への就職も果たすことができた。本当に良かったと心から思っている。

理系だから、文系だから、といって臆することは無い。少しでも興味のあることは積極的にチャレンジしてほしい。明治大学はそういうチャンスが溢れている場所だと思う。大學生活がどれだけ満足できるものになるかは自分次第。資格課程でないにしても、いろいろなことにチャレンジし、あなたらしい、価値ある素晴らしい大學生活を送られることを祈っている。